

講演会

よみがえる

れいとうかく

聆涛閣コレクション

神戸歴史遺産「住吉の豪商・吉田家関係資料」を知り、守り、伝える

令和5年

4月15日(土) 13:00~16:30 (開場 12:20)

御影公会堂

Heritage for the future
神戸歴史遺産

藪田 貫 (兵庫県立歴史博物館館長)

「摂津・河内の旧家と武家の交流—住吉村吉田喜平次を中心に—」

三上 喜孝 (国立歴史民俗博物館教授)

「『聆涛閣集古帖』の魅力 —国立歴史民俗博物館企画展示

「いにしえが、好きっ! —近世好古図録の文化誌—」がめざしたもの—」

須藤 宏 (神戸史談会)

「聆涛閣と宝物、明治以降」

加藤 明恵 (神戸大学大学院人文学研究科特命助教)

「吉田道可の文化的ネットワーク—松平定信『集古十種』編纂を中心に—」

古市 晃 (神戸大学大学院人文学研究科教授)

「吉田家資料の伝来と新出資料の発見」

総合討論 司会：市沢 哲 (神戸大学大学院人文学研究科教授)

総合司会 井上 舞 (神戸大学大学院人文学研究科特命講師)

申込方法 参加無料 事前申込制

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター HP
(<http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/>) に設置した
フォームよりお申込みください
右のQRコードからも申込可能です



先着130名 申込締切：4月13日(木)

問合せ

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター (担当：井上 舞)

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL&FAX 078-803-5566

E-mail: area-c.event@people.kobe-u.ac.jp



れいとうかく よみがえる聆涛閣コレクション

神戸歴史遺産「住吉の豪商・吉田家関係資料」を知り、守り、伝える

江戸時代、神戸住吉の豪商吉田家は、考古資料、書画、工芸品を収集し研究する「好古家」として広く名を知られていました。この吉田家のコレクションを収めたのが聆涛閣です。このたび、国立歴史民俗博物館で聆涛閣の特別展が開催されます。また、住吉に遺された吉田家の資料は今年1月に「神戸歴史遺産」に認定されました。これを機会に、吉田家とそのコレクションについて多方面から考える講演会を企画しました。知れば知るほど奥深い、聆涛閣の世界をぜひのぞいてみてください。

プログラム

- 13:00～13:05 挨拶 奥村 弘（神戸大学理事・副学長）
- 13:10～13:50 報告 藪田 貫（兵庫県立歴史博物館館長）
「摂津・河内の旧家と武家の交流—住吉村吉田喜平次を中心に—」
- 13:50～14:30 報告 三上 喜孝（国立歴史民俗博物館教授）
「『聆涛閣集古帖』の魅力 —国立歴史民俗博物館企画展示
「いにしえが、好きっ！—近世好古図録の文化誌—」がめざしたもの—」
- 14:30～14:40 休憩
- 14:40～15:05 報告 須藤 宏（神戸史談会）
「聆涛閣と宝物、明治以降」
- 15:05～15:30 報告 加藤 明恵（神戸大学大学院人文学研究科特命助教）
「吉田道可の文化的ネットワーク—松平定信『集古十種』編纂を中心に—」
- 15:30～15:55 報告 古市 晃（神戸大学大学院人文学研究科教授）
「吉田家資料の伝来と新出資料の発見」
- 15:55～16:05 休憩
- 16:05～16:30 総合討論 司会：市沢 哲（神戸大学大学院人文学研究科教授）
- 総合司会 井上 舞（神戸大学大学院人文学研究科特命講師）



「春日舎唐藏之図」（国立歴史民俗博物館 khirin-i で公開中の「聆涛閣集古帖」の画像を合成）